

わくわくとしょかん

第129号(2014年冬号)編集発行:福島市立図書館児童室 でんわ531-6551

ふゆのおたのしみかい

プログラム

- ☆にんぎょうげき『おむすびころりん』
- ☆おおがたかみしばい『だいこんどのむかし』
- ☆ブックトーク『ぬくぬく ぽかぽか』
- ☆こうさく『スノードーム』

12かつ20にち(とようび)

じかん☆ごご2じ~3じ30ぷん
ぼしょ☆しいつとしょかん 3かい かいぎしつ

おはなしかいのおしらせ

どようびのおはなしかい

まいしゅうど び ごご じ ぶん
毎週土曜日/午後2時~2時40分

1階 じどうしつ
(4才から小学生)

おひざにだっこのおはなしかい

まいつきだい もく び ごぜん じ ぶん
毎月第3木曜日/午前10時30分~

1階 じどうしつ
(3才までのお子さんと保護者)

ファミリー映画会

まいつきだい にち び ぶん
毎月第2日曜日/午後2時~

3階 かいぎしつ
12月...『雪の女王』
1月...『忍たま乱太郎』

12月



としょかんカレンダー



1月

日	月	火	水	木	金	土
	1	(2)	3	4	5	6
7	8	(9)	10	11	12	13
14	15	(16)	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	(31)			

日	月	火	水	木	金	土
				(1)	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	(13)	14	15	16	17
18	19	(20)	21	22	23	24
25	26	(27)	28	29	30	31

□...市立図書館・蓬萊・清水・吾妻・飯坂・もちずり・北信学習センターはおやすみです。

○...子どもライブラリーはおやすみです。

※その他の学習センターについては各図書室にお問い合わせください。





E (えほん)



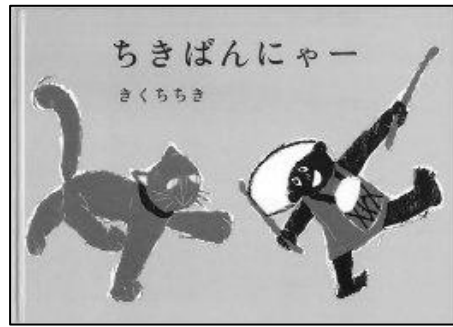
あたらしいほん



Y (よみもの)



『ちきばんにやー』 (E キクチ)
きくち ちき／作 学研教育出版



おんなのこがたいこをたたきながらあるいていきます。そのうしろには、てんとうむし、かえる、とり、うさぎ、うま。みんなで「ちきばんちきばん」こうしんしていくと、おおきなねこにであいました。

『クレヨンからのおねがい!』 (E ジェフ)
ドリュー・デイウォルト／文 オリヴァー・ジェファーズ／絵
木坂 涼／訳 ほるぷ出版



えをかこうとしたケビンがクレヨンのはこのうでみつけたのは「ケビンへ」とかかれたたくさんのてがみ。「やあケビン! オレだよオレ」てがみをかいたのはクレヨンたちでした。ケビンにおねがいしたいことがあるというのです。

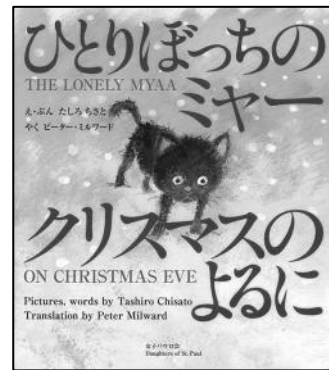
B (そのた)

『トイレをつくる未来をつくる』 (B49 アイダ)
会田 法行／写真・文 ポプラ社



トイレがあれば清潔な環境を保つことができます。そして、国の未来を担う子どもたちを病気から守ることができるのです。東ティモールの山村でのトイレづくりの活動と村人の生活の様子を伝えます。

『ひとりぼっちのミャー クリスマスの夜に』 (E タシロ)
たしろ ちさと／え・ぶん ピーター・ミルワード／やく
女子パウロ会



クリスマス・イブの夜、こねこのミャーはおなかをすかせていました。大きなねこに追いかけて逃げ込んだのは袋のなか。その袋の持ち主は…。優しい気持ちになるクリスマス絵本です。英訳付き。

『ちいさなちいさな一めにみえないびせいぶつのせかい』 (E サツト) ニコラ・デイビス／文 エミリー・サットン／絵
越智 典子／訳 出川 洋介／監修 ゴブリン書房



目には見えないけれど、どこにでもたくさんいる微生物。岩を土に、牛乳をヨーグルトに変身させます。ときどき体の中で増えすぎて、私たちを病気にさせてしまうことも。微生物の様々な働きを教えてくれる科学絵本です。

『すごいぞ!!重機大集合 1
—ブルドーザー・ドリルジャンボ・パイルドライバーほか—
(B51 スゴイ) 汐文社



工事現場などでよく見かける重機。独特な形や迫力ある作業の様子が写真やイラストで分かりやすく紹介されています。1巻では、私たちの生活に欠かせない建物の土台となる土地や道路を造る建設機械や作業車が取り上げられています。

『3人のまじよとドラゴン』 (Y913 オオト)
おおとも やすお／さく・え 借成社



バラバラ荘に住む3人のまじよ。さっそうと飛び回るドラゴンを手に入れるため、ドラドラばばのやしきに忍び込んで卵をうばいます。すると、ぬすみだした卵からあばれんぼうのドラゴンが出てきて…。

『お話しかせてクリストフ』 (Y93 コンウ)
ニキ・コーンウェル／作 渋谷 弘子／訳 中山 成子／絵
文研出版



クリストフは、ルワンダの内戦から逃げてイギリスへやってきました。友だちにルワンダにいたころ銃でうたれた傷が見つかり、学校で戦争体験を語るようになります。語ること、伝えることの大切さが伝わってきます。

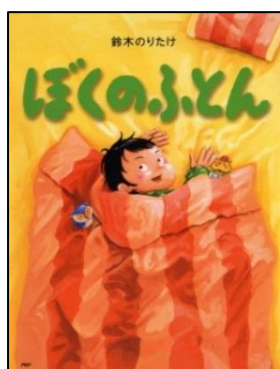
『真夜中の電話—ウェストール短編集』 (Y93 ウェス) ロバート・ウェストール／作 原田 勝／訳
徳間書店



クリスマス・イブの晩、悩み相談の窓口にならずかかってくる一本の電話。悲しげな声の主は、毎年決まって「これから夫に殺される」と話す。彼女は一体何者なのか? 表題作のほか、奇妙で驚きに満ちた物語8編をおさめた短編集。

ふかふか
あったか

ふとんの絵本



『ぼくのふとん』(E スズキ)
鈴木 のりたけ／作・絵 PHP研究所

ふかふかふとんにはいったら、おやすみなさいでいいきもち。でも、まいにちおなじじゃつまらない。それならこんなふとんはどう？ そらにうかんだ「ちゅうづりふとん」や、あなのあいた「ドーナツふとん」。ほかに、ねながらはする「ふとんカー」など、おもしろいふとんがいっぱい。

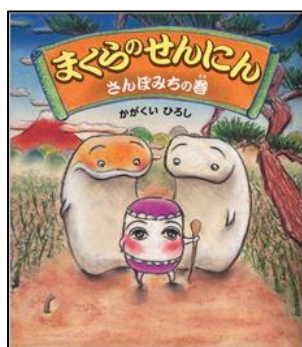
ふとんでねるのが^{たの}楽しくなる^{いっさつ}一冊です。

『わたしのゆたんぽ』(E キタム)
きたむら さとし／えとぶん 偕成社

ゆたんぽがだいすきなおんなのこ。でも、ゆたんぽはおんなのこのつめたいあしがにがてみたい。あるぼん、とうとうふとんからにげてしまいました。まどをやぶってよぞらへとびだしたゆたんぽ。ところが、おんなのこのあしはどんどんのびて、どこまでもおいかけていき・・・！？



『まぐらのせんにと さんぽみちの巻』(E カガク)
かがくい ひろし／著 佼成出版社



まぐらのせんにと、おとものしきさんとかけさん。3にんがさんぽをしていると、さむがっているきや、おやとはぐれたたまご、しもにやられてげんきのないだいこんたちにであいました。「それはおこまりだ。しきさん、かけさん」「はい」「ほい」と、3にんはつぎつぎひとだすけをしていきます。

さむい冬^{ふゆ}にぴったり^{ころ}の、心があったかくなるおはなし。

『おひさまぼかぼか』(E カサノ)
笠野 裕一／作 福音館書店

おひさまぼかぼか、あたたかいひ。おばあちゃんがえんがわにふとんをほしました。そこにねこがやってきて、「ふわー」とおおきなあくびをしてから、ふかふかのふとんにごろん！ それにつられて、おばあちゃんもねてしまいました。すると、どうぶつたちがつぎつぎやってきて・・・。

